

せいけん
詩集

第七十六篇

作：近藤せいけん

「望み」のぞ

小さい 願いねが

大きい 願いねが

人はそれぞれひと

その人にとって 大小はないひと

願いがかなうことねが

望みどおりになることのぞ

きつと そうなると 強くつよ

信じること 努力することしん

夢を見ることゆめ

夢を描くことゆめ

人それぞれのキャンパスにひと

何回も 何色もなんが

努力は現実となりどりょく

その人の 頭上にひと

やがて

女神さまは 微笑むめがみ

